

2011年12月16日

「千葉県人とねこの共生実行委員会」に協賛

マース ジャパン リミテッド(本社:東京都目黒区、社長:森澤 篤、以下「マース ジャパン」)は、財団法人千葉県動物保護管理協会、公益社団法人千葉県獣医師会及び千葉県が協働設置した「千葉県人とねこの共生実行委員会」に協賛し、今年 15 日に千葉県庁本庁舎1階多目的ホールにて行われた同会の設置総会において、協賛金の贈呈を行いました。

近年、飼いねこの不適正飼養による近隣トラブルや飼い主のいないねこによる生活環境被害が多くなっています。ねこは、年3回以上繁殖することが可能であると言われており、1匹のメスねこが1年後には20匹、2年後には80匹に増えてしまうため、飼い主のいないねこ対策としては不妊去勢手術の実施が最も有効な手段であると考えられています。さらに、地域住民の認知と合意を得た上で、飼い主のいないねこを適正管理する「地域ねこ活動」が全国的に注目を集めているところです。

「千葉県人とねこの共生実行委員会」は飼い主のいないねこの不妊去勢手術を実施してみだりな繁殖を防ぐとともに、地域ねこ活動を支援することにより、人とねこの調和のとれたまちづくりを実現し、平成24年度から飼い主のいないねこの不妊去勢手術等の事業を実施することを目的に設置されました。

盲導犬支援、保護犬支援、ペットと飼い主のための東日本大震災復興支援などの社会支援活動を行ってきたマース ジャパンは、「千葉県人とねこの共生実行委員会」に賛同し、取り組み実現に向け、協力を申し出ました。

今後も、マース ジャパンが掲げる理念である“Better World for Pets (ペットのためのより良い環境をつくる)”の実現のため、一匹でも多く幸せな犬猫を増やす活動を実施・サポートしていきます。



(左)千葉県人とねこの共生実行委員会
桑島 功 会長
(財団法人千葉県動物保護管理協会 会長)
(右)マース ジャパン 広報室長 長谷川

<ご参考>

盲導犬支援活動

マース ジャパンは、盲導犬を希望する方に対して普及頭数が不足している日本国内の盲導犬事情を憂慮し、1頭でも多くの盲導犬を育成するために1991年に「盲導犬育成支援プログラム」を立ち上げました。現在では、主に日本盲導犬協会へドッグフードの提供を行っています。詳細はこちら

<http://www.mars.com/japan/ja/commitments/support-of-japanese-guide-dogs.aspx>



保護犬支援活動

マース ジャパンのドッグフードブランド“ペディグリー®”において、“すべての犬に温かいお家を”という願いのもとに、すべての犬が幸せに暮らせる社会を支援することを目的とした“ペディグリー®ドッグアダプション(犬の譲渡)”活動を実施しています。詳細はこちら(<http://www.pedigree.jp/pda/about.aspx>)

東日本大震災復興支援

東日本大震災の被災地支援を目的として、2011年5月1日からマース ジャパンのペットフード全製品を対象に、お客様が購入した弊社ブランド製品1点につき1円を被災地のペットと飼い主のみなさまの復興支援金とする寄付金支援プロジェクト「ペットのために、いまできること。」を実施。現在ペット専用往診車の製作支援等の支援策を実施中。詳細はこちら(<http://mars-petnotameni.jp/>)

マースジャパンリミテッドについて

マース ジャパン リミテッドは1976年に設立、ペットフード事業、スナック菓子事業、ドリンク事業を展開しています。主軸事業のペットフード製品ではペディグリー®、カルカン®ウィスカス®、シーザー®、シーバ®、パーフェクトフィット®等のトップブランドを有しています。国内従業員数は約250名。親会社のマース インコーポレイテッドは、世界72カ国で事業を展開。世界における年間総売上高は300億米ドルを超え、その製品は世界中で販売されています。総従業員数は65,000名。マース ジャパン リミテッドのホームページは、<http://www.mars.com/japan/>